

健康ウォッチング

東陽病院 副院長 伊藤 文憲

訪問看護とは

横芝町の皆さん今日は。東陽病院の訪問看護は在宅での療養を希望される患者さんとその家族を支援する目的で、平成9年7月より開始され、現在は専任の保健師と看護師各1名のスタッフで行っています。患者さんは光・横芝・野栄町の3町の方がほとんどです。年齢は50歳代から100歳です。脳血管障害（脑梗塞・脳出血など）や心不全・呼吸不全による寝たきりのため通院困難な患者さん達です。以下当院の訪問看護室スタッフの報告です。

皆さんに利用していただきました。当初の頃から継続してご利用いただいている患者さんもいらっしゃいます。

しかし、私達保健師、看護師がいつでも訪問看護を行えるわけではありません。患者さんにとって主体となる看護師は、身近にいるご家族の皆さんです。そういったご家族の方へのご指導と援助を兼ねながら訪問看護は行われています。

また、平成12年からは介護保険が導入され、ケアマネージャー（介護支援専門

- 訪問看護で行う事
- ① 状態観察を行い医師へ報告（血圧・脈拍・呼吸状態・全身状態等）
 - ② 尿を排出するための管、栄養チューブ、在宅酸素の管理及び指導
 - ③ 褥創（床ずれ）の治療及び指導
 - ④ 糖尿病の患者さんの血糖コントロール
 - ⑤ 清拭、寝衣交換、手浴、足浴等

員）によって介護計画が立案してもらえようになり、訪問看護・訪問介護（ヘルパー）・訪問入浴・訪問リハビリなど、その方の状態に合わせた、在宅介護サービスを組み合わせてよりスムーズにそして専門的な分野からより効果的にサービスが受けられるようになりました。

誰もが在宅で治療・療養出来ればどんなに良いことだと思わずです。高齢化が進むと思われるこれから、在宅での医療・看護はなくてはならないものとなってくるでしょう。まだまだ、在宅医療・看護の態勢において解決すべき点もありませんが、今後の課題として、改善していきたいと思えます。在宅医療・看護において相談・質問などありましたら、東陽病院の訪問看護室までお気軽にご連絡下さい。

文芸

俳句

白寿まで詠みたす一句蓮の花

浅野 茂子

わが影の水にゆらめく菖蒲園

池田 逸子

船頭の棹さす先の夏柳

伊藤 敬子

ゆれ乍ら五月闇よりきたる船

岡田 雅美

女房を草矢的にせしことも

勝又 和徳

句友逝きぬ梅雨の晴れ間を待つ如く

向後 寛

追越して追越され入る夏の蝶

鈴木 繁子

梅漬けるたびに想ふは母の事

若梅あやめ

十二橋未央柳に迎へられ

渡辺 栄子

花菖蒲愛でて十二の橋巡る

渡部 和秋

白寿われ来年は見ぬ新緑ぞ

故 土屋 栗水

俳壇の翁逝きけりさみだるる

選者 鈴木 草庵

短歌

幼き日娘の好みたる金平糖

池田 春江

血の流れ浄くなるよと聞きてより
ニラやキャベツを多く食みあつ

佐瀬 初音

耳飾り時折り強く輝やきぬ

字井 ちい

フルート奏者のリズム取る時

行く先に何が待ちあまる心地して

隠岐の島島巡りゆくなり

押尾 輝子

海藻の色とよく似た海牛が

磯辺の水の底を移動す

秋葉 悦子

起き上り今日はいかがと自に問へり

腰の痛み三月余続く

裏年と雹害と続きし柿の木も

今年小さき実多につけたり

砂浜の丘なすあたり一面に

茅の穂波は揺れてしるがね

抱かれぬ心地してきぬ故里の

母の遺影の下に眠りて

いつよりか我れに欠かせぬ広辞苑

広げて短歌の誤字をたしかむ

川の面を浮木静かに流れゆく

河口に着く日ふと思ひたり

白き鳩魔術の箱より飛びしとき

一ひらの羽も空に舞ひたり

選者 斎藤つね子